

## 北九州空港大作戦について

令和6年2月20日の市長個別記者会見において、「北九州空港大作戦」を発表したので、報告するもの。

### 1 北九州空港大作戦の概要

#### (1) 意義

- ・成長エンジンである北九州空港のポテンシャル・稼ぐ力を高めることで、より多くの“ヒトとモノ”を呼び込み、北部九州圏の発展を牽引していく。
- ・既存の事業・施策に新たな取組みを加え、中長期の時間軸を含めた総合的なプロジェクト。空港関係者とこれまで以上に連携し、一丸となりスピード感を持って取り組む。

#### (2) 3つの取組の柱

- ・空港アクセスの強化【第1弾】
- ・空港の魅力向上
- ・路線の維持・拡充

#### (3) 空港アクセスの強化

エアポートバスの利便性向上に加え、鉄道などの交通手段をフル活用するとともに、イノベーションの力を北九州空港のアクセス強化に生かす、短期から中長期の取組み。

#### 【北九州空港アクセス強化施策パッケージ 主要検討・推進項目】

- ① バスアクセスを進化
  - ・小倉線ノンストップ便・朽網線の増便、バス路線網拡大を推進など
- ② 鉄道アクセスを進化
  - ・最寄り駅への特急停車を推進、空港利用者を増加させ鉄道の空港乗り入れの検討を再開など
- ③ イノベーションによる進化
  - ・自動運転バスの社会実装の検討、空飛ぶクルマ等新技術の導入を検討など

#### (4) 推進構造

- ・空港大作戦を推進するためには、目標、取組、組織、予算の4つの枠組みが重要。
- ・目標や取組でベクトルを明らかにするとともに、組織体制の強化、予算の集中的な投入を実施。

目標	3つの柱	組織	予算確保
○メガリージョンを支えるゲートウェイ	○空港アクセスの強化 ○空港の魅力向上 ○路線の維持・拡充	○組織体制の強化 ・空港機能強化・アクセス担当ライン増強	○令和6年度予算 ・16億円 ・対前年度比35%UP

### 2 第2弾の発表について

- ・「空港の魅力向上」、「路線の維持・拡充」については、検討中。
- ・現在策定中の新ビジョン（基本構想・基本計画）により新しい北九州市の目指す方向性が確定した後、その方向性に合わせた形で第2弾として発表していく予定。

# 北九州

# “空港大作戦”

第1弾

Operation KKJ



令和6年2月  
北九州市

■ 問合せ先  
港湾空港局空港企画課  
・ 担当：高岡、今村  
・ 連絡先：093-582-2308

## はじめに

私は、就任前から北九州空港のポテンシャルを感じていましたが、就任後の滑走路延長の事業化をはじめとする未来に向けた大きな動きを目の当たりにし、その考えは大いなる確信へと変わりました。

現在策定中の、北九州市の新たなビジョン（基本構想・基本計画）の重点戦略のひとつである「稼げるまち」を実現していくためには、北九州空港の発展が不可欠であると考えています。

このような考えから、今回、北九州空港への私の思い、そして発展への道筋をカタチにした『北九州空港大作戦』（第1弾）を発表するものです。

## 北九州空港大作戦について

成長エンジンである北九州空港のポテンシャル・稼ぐ力を高めることで、より多くの“ヒトとモノ”をもっともっと呼び込み、北部九州圏の発展を牽引していく。既存の事業・施策に新たな取組みを加え、中長期の時間軸を含めた総合的なプロジェクトです。

空港関係者とこれまで以上に連携し、一丸となりスピード感を持って取り組みます。

北九州空港からはじまる北九州市の未来をともに創っていきましょう。

### 《目次》

#### ○現状認識・・・P.2

- 1 北九州空港はポテンシャルに溢れている
- 2 開港以来、旅客・貨物はともに徐々に拡大してきている
- 3 潜在力を最大限に発揮し競争に打ち勝つ

#### ○本 題・・・P.5

- 4 北九州空港大作戦の始動
- 5 空港アクセスの強化
- 6 空港大作戦の推進構造
- 7 北九州空港の発展に向けて

#### ○北九州空港アクセス強化施策パッケージ・・・P.11



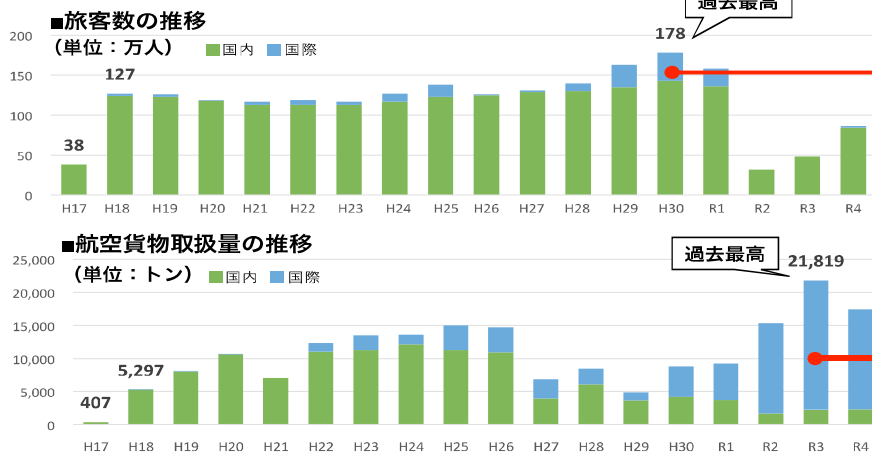
北九州市長 武内 和久

# 1 北九州空港は「ポテンシャル」に溢れている



# 2 開港以来、旅客・貨物はともに徐々に拡大してきている

- 2006/3/16 ● 北九州空港誕生 JAL・SFJ就航により羽田便旅客数が3倍に！
- 2018/3 ● 旅客数過去最高（H30年度・2018年度：178万人） 外国人入国者数全国第9位
- 2022/3 ● 貨物取扱量過去最高（令和3年度・2021年度：2.2万トン） 国際貨物取扱量全国第6位
- 2024/2 ● 現在地



■外国人入国者数（インバウンド）順位

1位	成田空港	8,731千人
2位	関西空港	7,771千人
3位	羽田空港	4,140千人
4位	福岡空港	2,431千人
5位	那覇空港	1,784千人
6位	新千歳空港	1,750千人
7位	中部空港	1,509千人
8位	鹿児島空港	175千人
9位	北九州空港	149千人
10位	高松空港	122千人

■国際貨物取扱量順位

1位	成田空港	2609.3千トン
2位	関西空港	822.3千トン
3位	羽田空港	419.2千トン
4位	中部空港	111.7千トン
5位	福岡空港	26.5千トン
6位	北九州空港	19.6千トン
7位	新千歳空港	13.1千トン
8位	小松空港	5.2千トン
9位	那覇空港	1.2千トン
10位	鹿児島空港	0.2千トン

### 3 潜在力を最大限に発揮し競争に打ち勝つ

滑走路3,000m化の事業化 (2023.3)



空港のポテンシャルを大きく引き上げ

国際旅客定期便の再開 (2023.5)



旺盛なインバウンド需要への期待

シリコンアイランド九州復活の動き



国内外の輸送ニーズの大きな高まり

大きなチャンスをとらえていく

### 4 北九州”空港大作戦”の始動

「稼げるまち」の実現に向けたプロジェクトを始動!

## 北九州空港大作戦

#### 意義

- 成長エンジンである北九州空港のポテンシャル・稼ぐ力を高め、より多くの“ヒトとモノ”を呼び込み、北部九州圏の発展を牽引していく。
- 既存の事業・施策に新たな取組みを加え、中長期の時間軸を含めた総合的なプロジェクト。
- 空港関係者とこれまで以上に連携し、一丸となりスピード感を持って取り組む。

#### 3つの取組の柱

- 空港アクセスの強化 **第1弾**
- 空港の魅力向上 **第2弾**
- 路線の維持・拡充 **Coming soon**





## 5 空港アクセスの強化

北九州空港アクセス強化施策パッケージ 主要検討・推進項目

 バスアクセスを進化 	
<b>エアポートバスの利便性向上</b>	
小倉線ノンストップ便	1.5倍に増便  <b>R6実現</b>
朽網線	1.9倍に増便  <b>R6実現</b>
インバウンド旅客向け	タッチ決済導入 <b>R6実現</b>
目的地へダイレクト	バス路線網拡大を推進
<b>乗継ぎ利便性の向上</b>	
福岡方面のアクセス向上	既存高速バスのフル活用を推進



## 5 空港アクセスの強化

北九州空港アクセス強化施策パッケージ 主要検討・推進項目

 鉄道アクセスを進化 	
<b>鉄道の利便性向上</b>	
福岡・大分方面の高速アクセス	最寄り駅への特急停車を推進
鉄道の空港乗り入れ	空港利用者を増加させ、検討を再開
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">市西部方面 →20分短縮</div>	
<b>乗継ぎ利便性の向上</b>	
鉄道乗換え時間の短縮	鉄道ダイヤに対応したバス編成 <b>R6実現</b>
複数交通手段のスマートな決済	一括決済サービス導入を推進


## 5 空港アクセスの強化

### 北九州空港アクセス強化施策パッケージ 主要検討・推進項目


 **イノベーションによる進化** 

**今から備える新時代への対応**


バスの運転手不足への備え	自動運転バスの社会実装を検討
夢のある次世代のアクセスを実現	空飛ぶクルマ等新技術の導入を検討
空港アクセスのGX推進	次世代バイオディーゼルの活用やEV化を推進



自動運転バスの社会実装



空飛ぶクルマ（イメージ）



次世代バイオディーゼルの走るエアポートバス

## 6 空港大作戦の推進構造

